

# 金融労働者との共闘を広げ、リストラ・再編促進の金融行政を転換させ、国民・地域経済に役立つ金融を実現しよう！



〒520-0041  
滋賀県大津市浜町1-38  
滋賀銀行従業員組合  
TEL 077-521-2775  
FAX 077-525-5232  
Mail info@sbu-ffs.com  
URL http://sbu-ffs.com/

## 全国金融労働組合連合会 第14回定期全国大会

9月14日から15日にかけて、東京に於いて金融労連第14回定期全国大会が開催されました。代議員と本部役員44名（委任状含む）が出席され、従業員組合から中島委員長（金融労連委員長）と小原執行委員が参加しました。大会では「2019年度運動総括」「2020年度運動方針」「決算・予算」「規約改正」などが採択されました。

金融労連第14回定期全国大会は、世田谷信金労組の中島純一代議員と、きらやか銀行労組の鈴木裕幸代議員を議長団に選出し、開会宣言の後、中島委員長から次の挨拶がありました。



### 中島委員長の挨拶

### 米中貿易摩擦、日韓関係も話し合い不可欠

「米中貿易摩擦の出口は見えません。世界経済減速の大きな影響が避けられないと言われています。日韓関係の悪化も同様ですが、話し合いによる解決が不可欠です。」

### 世論無視の改憲、望まれる安倍総理退陣

「先の参議院選挙で改憲勢力は3分の2を下回り、世論調査でも必要ないという民意が示されているのに、安倍総理は改憲すると強弁

しています。早急に退場してもらおうことが何より必要です。」

### 迷走する規制緩和、要請無視の金融庁に怒り

「金融庁が新たに令和元事務年度の「方針」を公表しました。内容の一部は「銀行間の出資規制緩和」「業務範囲の拡大」などの規制緩和で「地域銀の改革後押し」とする一方、健全性の観点で懸念のある地域金融機関に対して「早期警戒制度」も活用して、対応が不十分な金融機関には業務改善命令も視野に入れる。さらに、持続可能なビジネスモデルに向けたパッケージ策として独占禁止法の適用除外に係る特例法の制定を進めるなど、迷走しています。また、かんぽ生命の保険の問題で、日本郵政へ企業統治改善を要請するとしています。金融労連では年2回金融庁への要請行動でノルマ販売を質すよう要請してきましたが、「個別経営の判断」として何ら対策を行わなかったことに怒りを覚えます。」

### 歓迎できないSBIの地銀への出資、「地銀連合」方針を加速

「9月6日、SBIホールディングスが島根銀行との資本業務提携を発表しました。「地銀連合」構想を持つ

SBIの地銀への初出資ですが、この提携は金融庁の方針を加速するものであり歓迎できないと考えます。」と述べられました。

### 4氏が来賓挨拶

次に、来賓として、4人の方々から挨拶がありました。（概要・文責編集部）

### 問われる「中央最賃審議会の役割」

衰退、非正規労働者の増加、倒産も増加している。また、物価上昇による実質賃金の減少、使い勝手のいい労働者づくりなど財界最優先である。さらに、改憲の謀略、社会保障の改悪などあらゆる負の影響に、国民の怒りはかつてないほど高まっている。



全労連副議長・橋口紀塩さんは、はじめに、関東・九州地方の自然災害への見舞を述べ、「参議院選で市民と野党共闘により改憲議席を3分の2以下に止めたが、安倍首相はあくまでも改憲を進めようとしている。新内閣が発足したが改憲を第一にしたものと言わざるを得ない。また、最賃は、上がった地方もあるが僅かであり、すべて増税でもっていかれるのが実態である。ますます全国一律の最賃が必要であり、中央最賃審議会の役割が問われる。」

金融労連の日頃の地域経済を守る運動に敬意を表し、組織の拡大に更なる奮闘を」と述べられました。

### 金融労働者の団結で平和・生活・雇用守ろう

全国金融共闘議長・浦上義人さんは、「金融労連を核として各単産が連携して運動し多くの成果を上げています。銀行だけでなく損保、証券、生保、ユニオンに仲間を広げ、行政にも申し入れを繰り返して、その役割を遺憾なく発揮されている。アベノミクスはこの6年半で地域経済の疲弊、企業間格差の拡大、中小企業の



金融機関は収益優先政策による人件費、物件費の削減を進め地域への社会的責任を果たそうという姿勢ではありません。金融労働者が団結し、平和と民主主義、権利と生活、雇用と労働条件を守る声を上げることが必要」と述べられました。

### 国民犠牲の金融緩和共闘で政治変えよう



日本共産党・宮本徹さんは、「過大ノルマによるスルガ銀行、かんぽ生命、ゆうちょ銀行の顧客を犠牲にした相次ぐ不祥事。特にスルガ銀行については、国会で質問したところ社会問題になる何年も前から、金融庁の相談室に核心に迫る告発がなされていた。これを知りながら放置し、スルガ銀行を持ち上げていた事は重大責任」「国民を犠牲にした安倍首相の金融緩和、マイナス金利政策が金融機関の体力を奪ってきた」「野党共闘により政治を変えよう」と述べられました。

# 金融労連に加入して職場は変わった コース別人事制度廃止と定期昇給新設

## 非正規の待遇改善、 職場に労組拡大を



019年度運動総括、第2号議案、「2020年度運動方針」、第3号議案「決算・予算」、第4号議案「規約改正」が提案されました。その後、討論が行われ15人から発言がありました。

主な発言テーマは「非正規の改善取り組み・機関誌発行・店舗内店舗・顧客サービス」の低下・交通事故の差別処分・特定日の廃止・組織の縮小・西日本事務所の閉鎖・労使関係の改善・争議による職場復帰・従業員への副業、兼業、高齢者雇用・増税による廃業・組織拡大の成果・若手職員の退職・過重ノルマなど」の課題でした。

職場に組合はなく、周りから岩原が何か変な組合に入ったと言われながら活動してきました。2年前にコース別人事が導入され、残業できる人とできない人で、不当な評価による差別が行われてきました。

## 金融労連加入でコース別廃止、定昇千円

私が感銘を受けたのは、金融ユニオンの岩原朋子さんの発言でした。岩原さんは「私は東京金融取引所の検査機関に勤務しています。証券会社の個人向けFX取引の証拠金損害補填を繰り返す事件が発生しました。以前にも山一証券など多くの証券会社が

倒産した、過大なノルマによる金商法違反が原因です。このような事件がいまだに残っており、今回の摘発ではその証券会社は即、廃業となりました。

取引所は当初、団交要求にも応じなかったが、組合（ユニオン）の要求により協議を重ね、会社の態度が変わり、大きな成果としてはコース別人事が撤廃され、今までなかった定昇千円を勝ち取りました。また、社員は80名ですが、今年は男性社員が2名育休を取得しました。金融労連に加入して本当に良かった。」と述べられました。

## 通勤手当改善要求 実現で、組合に加入

さわやか従組・小林徹さんは、女性従業員が通勤手当の改善要求を持っている

ことを知り、代理として粘り強く支店長と何度も交渉し、実現したことを感謝され、組合に加入となった。また、ある本によると、組織拡大のヒーローになるな、すべてを一人でやるな、人を育てる、教えることが大切と書かれていた。

## 新年度役員選出 委員長に中島康隆氏

役員選挙は定数内立候補で全員が信任されました。

中央執行委員長  
中島 康隆（近畿地協・滋賀銀従組）

中央執行副委員長  
中野 勉（関東地協・東京きらぼしFG労組）

同 佐藤 一枝（北海道地協・北洋銀行労組）

同 舟田 靖（関東地協・さわやか信金従組）

書記長  
笹本 健治（本部書記局）

なお、他に執行委員7人が選出されました。

## 全ての議案を 満場一致で可決

第5号議案で2020年度中央委員の定数について提案がありました。第1号から5号議案まで採決が行われ、いずれも満場一致で採択されました。

## 機関紙コンクール入賞 組合ニュース・波紋



恒例となっている「機関紙コンクール」の審査結果が発表されました。神奈川従組、米子従組とともに今年度も滋賀従組が表彰され、金融ユニオンが特別賞を受賞されました。（写真右端が小原代議員）

# 県労連第33回定期大会

8月31日、守山市内において滋賀県労働組合総連合（県労連）第33回定期大会を開催され代議員と役員40名が参加され、当単組から幹事の小原執行委員と代議員として中島委員長が参加しました。大会は、議長団に自治労連・佐伯代議員と全滋賀教組・高岡代議員を選出し進められました。



情勢についてふれ、安倍外交の行き詰まりとアメリカ言いなりの姿勢を明らかにしました。また、年金問題や強行されようとしている消費増税や防衛費の増加による国民の負担の増加を批判しました。

## 国体署名の取り組み 組織拡大など提起

開会のあいさつで瀧上正昭議長は日韓関係の悪化の

県政に関わっては国体に500億円以上を使う県政

の問題を指摘、署名に取り組みことを提起しました。野洲市民病院で医労連の組織ができたこと、ふれ、県労連組織の拡大を進めようとして訴えられました。

## 福保労不当解雇裁判勝利 野洲市民病院に組合結成

争議の訴え・報告では福保労の不当解雇裁判をたたかってきた加藤さんから勝利の報告を受けました。また、医労連がこの間取り組

んできた野洲市民病院での組合結成の報告もあり、いずれもひととき大きな拍手で労をねぎらいました。

## 議長に岡本恭治全滋賀教組

議長では執行部より1年間の経過報告と方針の提案が行われ確認しました。最低賃金の審議状況や取り組みなど強調して大きく変化している情勢を共有しました。また、組織の今日の実態を示し、拡大に力を注ぐことを確認しました。

大会は、情勢と経過、1年のたたかいを共有し、新年度の方針と岡本恭治議長をはじめ新体制を確立し閉会しました。

## 「働き方改革」・「憲法改悪反対」を決議

また、今回の定期大会では特別決議「真の働き方改革の実現を求める決議」と「憲法改悪に反対する決議」が満場一致で採択されました。

最後にスローガンが採択され、新役員を代表しての中島委員長が挨拶され閉会しました。

私はこの2日間の大会に参加し、金融労連の方針と各単組の取り組みや、討論の発言内容より、厳しい職場環境の中で問題を共有し、全国の仲間とともに闘うことが互いの力を高め、職場の改善、より一層の組織拡大、強化に繋がることが確信しました。

レポート・小原信夫